

町政功労者表彰受賞者

表彰区分	地域	氏名	功績内容
社会福祉功労	揖斐	久保田 博子 様	永年にわたり、民生委員として、社会福祉の向上に尽くされました。
学芸功労	久瀬	高橋 重和 様	永年にわたり、「三倉の太鼓踊り」の保存、伝承に努められ、地域文化の振興に尽くされました。
体育功労	春日	森 亜都子 様	永年にわたり、体育指導委員、体育推進員として体育の振興に尽くされました。
体育功労	揖斐	宮川 義一 様	永年にわたり、剣道少年団指導者として体育の振興に尽くされました。
農業功労	揖斐	野原 定夫 様	永年にわたり、揖斐川町農業委員として、農業の振興、発展に尽くされました。
土地改良功労	揖斐	遠藤 三影 様	永年にわたり、揖斐川左岸用水土地改良区に携わり、土地改良区運営に尽くされました。
観光功労	春日	藤原 清由 様	永年にわたり、貝月山・鍋倉山への登山道の整備に取り組み、観光事業の振興発展に尽くされました。
公共団体功労	春日	内藤 敬司 様	永年にわたり、交通安全協会春日支部役員として交通安全啓発活動に尽くされました。

感謝状受賞者

地域	地区	氏名	功績内容
揖斐	極楽寺	竹中 治通 様	多年にわたり、行政推進員として、町内自治の振興、発展に貢献されました。
谷汲	上名礼北	高木 恵 様	多年にわたり、行政推進員として、町内自治の振興、発展に貢献されました。
坂内	坂本西	平野 勝幸 様	多年にわたり、行政推進員として、町内自治の振興、発展に貢献されました。

行政推進員研修会で
町政功労者を表彰

4月21日(土)、揖斐川町役場で、行政推進員研修会が開催されました。研修会では、多年、行政推進員として貢献された3名に感謝状が贈呈され、8名が町政功労者として表彰されました。

また、岐阜大学工学部社会基盤工学科の倉内文孝准教授を講師としてお迎えし、「地域生活交通を考えるための視点の整理について」の講演が行われました。

感謝状の贈呈および功労者表彰を受けられた方々は次のとおりです。



▲功労者表彰および感謝状を受けられた皆さん



▲記念講演会の様子

ロンドンオリンピックカヌー競技
出場選手が揖斐川町を訪問

4月4日(水)、ぎふ清流国体のカヌー競技の岐阜県代表選手で、ロンドンオリンピック カヌー競技スラローム女子カヤックの代表に内定した海淵 萌選手(トヨタカローラ岐阜(株)所属)が揖斐川町役場を訪れました。

海淵選手は、昨年12月に中国で行われたアジア選手権兼ロンドン五輪アジア大陸最終予選で3位となり、オリンピック出場を決めました。

海淵選手は「オリンピックでは、全力でメダルを目指し、その後のぎふ清流国体は優勝できるようにがんばります。」と決意を述べられました。



▲健闘を誓った海淵選手(右)

**第16回全国高校女子ソフトボール
選抜いび川大会開催**

4月6日(金)～8日(日)に揖斐川健康広場を中心に第16回全国高校女子ソフトボール選抜いび川大会が開催されました。この大会は、高校総体の予選に向けて全国の強豪校が戦力を確認する恒例の大会で、今年は、県内8チームを含む31チームが全国から集結し、元気いっぱい熱戦が繰り広げられました。

今年は、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」の開催年です。揖斐川町での開催種目である少年女子ソフトボールの大会に、今回参加の選手が数多く出場することが期待できそうなハイレベルな試合が展開されました。

**第16回全国高校女子ソフトボール
選抜いび川大会 (結果)**

- 優勝 須磨ノ浦女子高等学校 (兵庫県)
- 準優勝 三國高等学校 (福井県)
- 第3位 滑川高等学校 (富山県)



▲優勝した須磨ノ浦女子高等学校



▲熱戦が繰り広げられました

イビデンの森で植樹活動

「イビデン創業100周年」

岐阜県の森林保全や地球温暖化防止のために企業参加による森林づくりを行なう植樹活動が、4月7日(土)東横山の「イビデンの森」で行われました。

5回目となる今年は、イビデン創業100周年を記念した桜祭りも開かれ、イビデングループの社員とその家族、地域の皆さんなど約220人が、シデコブシやヤマザクラなどの苗木100本を植えました。これで、今までに植樹された木は、約800本となり、美しい花を咲かせる憩いの森が広がってきました。本年度中には当初計画していた1000本の植樹が完了する予定です。



▲植樹活動の様子

谷汲さくらまつり

「伝統文化の交流」

4月8日(日)谷汲山華厳寺の町営第1駐車場第24回谷汲さくらまつりが開催され、岐阜県重要無形民俗文化財の谷汲踊や伝統文化の継承に取り組んでいる団体との交流で招いた「越中八尾おわら保存会(富山市)」による「おわら風の盆」などが披露されました。

今年は、桜の開花が遅く、つぼみの状態でしたが、バザーや物産販売などで会場は賑わっていました。

前日の7日(土)の夜には、谷汲山華厳寺仁王門前でオープニングセレモニーが行われ、参道を照らす竹燈籠の点灯式や「越中おわら風の盆」の流し踊りが披露され、大勢の観客が優雅な舞を楽しみました。



▲越中おわら風の盆流し踊りの様子



▲ドライバーに交通安全を呼びかけました

4月9日(月)、春の全国交通安全運動(4月6日~15日)にちなみ、交通安全街頭指導が揖斐警察署前の国道303号で行われました。

街頭指導には、揖斐警察署、揖斐地区交通安全協会、揖斐建設業協会など約70人が参加しました。

開始式で、堀部和男署長は「岐阜県は交通死亡事故の増加率が全国で一番高いです。皆さんの協力でこの状況を改善したいと思います。」とあいさつされました。

参加者は、ドライバーにリーフレットや交通安全啓発グッズを配布し「安全運転をお願いします。」と交通安全を呼びかけました。

春の全国交通安全運動

交通安全呼びかけ街頭指導



▲ミナモちゃんマスコットを作成

ぎふ清流国体で揖斐川町を訪れる選手らに手作りのプレゼントを贈ろうと、北方1班民泊協力会調理班のメンバーが毛糸でミナモちゃんマスコットの作成をしています。ミナモちゃんマスコットは、約20センチで毛糸を編み込んで作られています。

この取り組みは、民泊や料理以外で何かおもてなしができないかと考え、調理班の15人のメンバーが「手作りのプレゼント」を考案されました。

代表の藤吉すま子さん(北方)は「選手に最後まで頑張ってもらいたいという気持ちを込めて作っています。心をこめたおもてなしをしたいと思っています。」と話されました。

民泊協力会でおもてなし

ミナモちゃんマスコット



▲北方地内を練り歩く神輿

4月15日(日)、北方神社で春季例大祭の北方まつりが行われました。

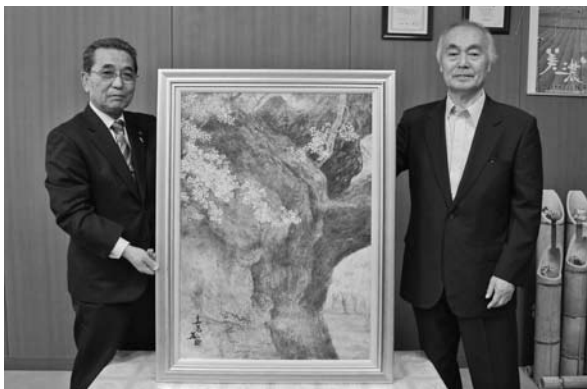
北方まつりでは、昨年140年ぶりに豊作祈願の芸能「ねそね祭り」が復活しましたが、今年は31年ぶりに「神輿」が復活し、約150人の一行が北方地区を練り歩きました。

神輿は「王将」、「飛車」、「角」の3台でつり手は10代~60代の男女が参加。以前は男性だけが担いでいた神輿でしたが、今回は女性にも活躍してもらおうと「角」のつり手は女性中心でした。

関係者からは「天候にも恵まれ、つり手は若者が元氣よく声をかけてがんばってくれた。」と31年ぶりの復活に喜びもひとしおでした。

北方まつり

31年ぶりに神輿が復活



▲寄附していただいた絵画と伊藤氏(右)

4月19日(木)、揖斐川町にゆかりの深い日本画家である伊藤嘉晃氏がら揖斐川町に絵画を寄附していただきました。

伊藤氏は、旧根尾村(現本巣市)で戦中の疎開時代を過ごしたことから淡墨桜を題材にした作品を数多く描かれています。現在は日本美術院特待の画家として活躍しておられ、奈良県の薬師寺を初め、多くの美術館や施設に作品が収められています。

日本画家

伊藤嘉晃氏が絵画寄贈

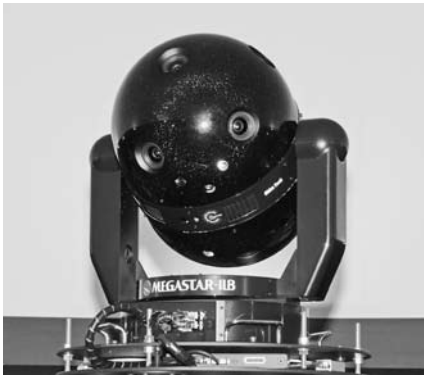
**西美濃。プラネタリウム
リニューアルオープン**

4月28日(土)、藤橋城・西美濃プラネタリウム(鶴見)が最新の投影機を導入し、リニューアルオープンしました。

更新された投影機は、東海3県で初めて導入された、先進的な光学式投影機「メガスター・II B」とデジタル式投影機「トリビュート2000」です。

映し出せる星の数は、今までの約3500個から約1000万個に増え、天の川の星1つ1つまでもが鮮明に表現できます。

また、座席は同心円状の3列から2列とし、座席数を3割ほど減らし、ゆったりと鑑賞できるスペースを確保。どの席でも良い音で聞こえる無指向性スピーカーも採用し、快適な空間が誕生しました。



▲東海3県で初導入「メガスター・II B」

揖斐高原花桃フェスタ2012

～多彩な催しで楽しむ～

揖斐高原花桃フェスタ2012が、4月22日(日)、揖斐高原貝月リゾート(日坂)で行われました。

当日は、あいにくの雨のため、ステージイベントは栃の実荘の中で行われました。

くぜ・ふじはし幼児園児の鼓隊演奏や久瀬小中学校の児童生徒による合唱などが披露されました。

会場では、地獄うどんや白龍神社で祈願を受けたゆで卵が振る舞われ、山菜おこわやソーセージなどの特産品の販売、フラワーアレンジメント、しいたけ菌打ち体験コーナーなど来場者は地域ならではの味や体験を満喫していました。



▲くぜ・ふじはし幼児園児による鼓隊演奏

東津汲鎌倉踊

～力強く華麗な舞～

4月29日(日・祝)、白髭神社(東津汲)で、岐阜県重要無形民俗文化財の鎌倉踊が披露されました。

鎌倉踊は、武者踊り、太鼓踊り、またはシナイ踊りとも呼ばれ、源氏が平家を滅ぼしたときに、戦勝を祝って踊ったものと伝えられています。

この日は、関係者や地域の皆さんなど約200人が集まり、神社の境内では、5色に彩られた飾りが華やかに舞いました。

また、久瀬振興事務所隣のやまびこの郷駐車場でも披露され、施設の入所者などが力強く華麗な舞を楽しみました。



▲白髭神社境内での鎌倉踊の奉納

養老鉄道揖斐駅周辺整備完成式

～町の南の玄関口～

4月29日(日・祝)、養老鉄道揖斐駅前で、養老鉄道揖斐駅周辺整備完成式が行われました。

養老鉄道揖斐駅周辺は、町の南の玄関口として町民に限らず、観光客など多くの方から親しまれ、利用されています。

揖斐駅前には、昨年の秋から半年かけて整備が行われ、出口の自動車右左折スペースを確保。また、花壇や駐車場を改修して見通しを良くするなど利便性が高まりました。

竣工式典後には、完成を祝した餅の配布や、「旬の店」での野菜やいちごなど地域特産物販売などに多くの方が訪れ、賑わっていました。



▲整備された養老鉄道揖斐駅前



▲5周年を鏡開きで祝いました

いび川温泉藤橋の湯（東横山）がオープンから5周年を迎え、日頃のお客様への感謝を込めて、「5周年感謝祭」が4月29日（日・祝）～30日（月）にかけて行われました。

感謝祭の式典で、(株)藤橋ビレッジ 代表取締役の長屋昭二ながやしょうじさんは「いび川温泉藤橋の湯もオープンから5周年を迎え、これを契機により一層お客様に満足していただけるよう、従業員が一丸となってサービスの向上に努めていきます。また、この施設が観光交流の拠点となるように展開していきたいと思えます。」とあいさつされました。

感謝祭では様々な催しが行われ、多くの来場者で賑わいました。

いび川温泉藤橋の湯
5周年記念イベント



▲観光放流を楽しむ観光客

総貯水容量日本一を誇る徳山ダムで、5月1日（火）～5月5日（土・祝）にかけて観光放流が行われました。

観光放流は、10時～15時まで1時間おきにそれぞれ10分間、洪水時用のゲートを開いて、毎秒約3トンの水を放流。流れ出した水は、全長約270メートルのダム堤体斜面にウロコ模様を描きながら流れ落ちました。

来場者は、水が描く模様にも感嘆の声を上げていました。

期間中は、2600人の観光客が訪れ、3日と5日にはダム管理用船舶「とくまる」でダム湖をめぐる湖上説明が行われました。

徳山ダム観光放流

水が織りなす模様にも感動



▲子供歌舞伎の奉納（三輪神社）

揖斐川町を代表する伝統文化行事である揖斐まつりが、5月1日（火）～5日（土・祝）に三輪神社周辺で開催されました。

今年も天候にも恵まれ、岐阜県重要有形民俗文化財に指定されている豪華絢爛な5輦の芸軸と、その舞台で練り上げられる華やかな子供歌舞伎、そして13社の勇壮な神輿の渡御を一目見ようと、期間中に4万5千人の観光客が訪れ、祭りは大いに盛り上がりました。

今年の子供歌舞伎は、中町組による『鏡山旧錦絵』が上演されました。

300余年の伝統 豪華絢爛「揖斐まつり」

古より伝承される技と心



▲稚児役者の練り込み（本町通り）



▲神輿登御（三輪神社）